

一般質問項目表

日本共産党
尾村利成

1. 知事の政治姿勢について

(1)TPPについて

- ① 関税と非関税障壁の撤廃を原則とするTPP参加は、農林漁業を土台から壊し、医療、食の安全、雇用、公共事業の発注などのルールを壊し、暮らしのあらゆる分野に甚大な被害を与えるものである。国に対し、暮らしや食料・農業・地域経済を壊滅させるTPPには参加しないよう強く求めるべきと考えるが、所見を伺う。(知事)

(2)C2配備について

- ① 高度、飛行範囲、訓練ルート、速度など、美保基地まかせにせず、情報提供・開示が求められる。地元八束町、松江市、県など関係機関が直接、防衛局や美保基地と協議する機関の設置を求めるべきと考えるが、所見を伺う。(知事)
- ② C2配備による基地機能強化は、美保基地の性格を国土防衛からアメリカの引き起こす戦争の出撃基地として、戦争に巻き込まれる危険性があり、自衛隊の米軍との一体化が強化されるものである。C2配備計画には、反対すべきと考えるが、所見を伺う。(知事)

(3)原発・地域防災計画について

- ① 住民避難に当たって、社会福祉施設、病院、要援護者など県民からの不安の声をどのように把握しているのか伺う。(知事)
- ② 老朽原発は廃炉、プルサーマルは撤回、徹底した活断層の調査を実施すべきである。原発の危険を除去・軽減してこそ、防災力が高まり、県民の命と安全が保障できる。原発からの撤退を決断してこそ実効ある避難計画が策定できると考えるが、所見を伺う。(知事)
- ③ 医療、介護、福祉、子育て支援などの強い基盤とネットワークが確立してこそ、災害時に大きな力を発揮できると考える。「住民の福祉を守る」という自治体の原点と「災害から命を守る」という自治体の責務は、一体のものであり、「福祉が充実し、防災に強い」島根づくりをすすめるべきと考えるが、所見を伺う。(知事)

2. 看護師の勤務環境改善について

- ① 厚労省5局長通知に基づき、医療行政と労働行政、関係機関が協力し合って、勤務環境改善に向けた取り組みをすすめるべきと考えるが、所見を伺う。また、5局長通知の内容を県内各病院に周知徹底し、勤務環境改善をすすめるべきと考えるが、所見を伺う。(部長)
- ② ILO看護職員条約に基づき、看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、次の仕事までの間隔(勤務間隔)は12時間以上とすべきと考えるが、所見を伺う。(部長)
- ③ 看護師2交代勤務導入によって、看護師の健康状態、疲労による作業能力低下、ヒヤリ・ハット、医療事故の増大など、どう総括・検証しているのか、所見を伺う。

(病院局長)

- ④ 厚労省5局長通知の具体化をはじめ、勤務環境改善に向けた取り組み方針を伺う。
(病院局長)

3. 介護保険について

- ① 総合事業は、全国一律の人員や施設基準がある介護保険サービスとは違い、サービス低下につながる恐れがあり、導入すべきではないと考えるが、所見を伺う。
(部長)
- ② 市町村が独自に行う地域支援事業は、生活支援、権利擁護など高齢福祉施策を拡充すべきと考えるが、所見を伺う。(部長)
- ③ 保険料軽減に向けて、財政安定化基金は取り崩すべきである。市町村拠出分は市町村に返還すべきであり、県拠出分は保険料軽減に充てることとし、市町村に交付すべきと考えるが、所見を伺う。(部長)
- ④ 介護保険財政の公費負担割合を引き上げ、国庫負担を増額するよう国に求めるべきと考えるが、所見を伺う。(部長)

4. 福祉医療費助成制度について

- ① 県として障がい者などの受給者、自治体の声、要望をどのように把握し、どう認識しているのか、所見を伺う。(部長)
- ② 障がい者団体や病院関係者、受給者とその家族からは、1割負担を撤回し、安心して医療が受けられるようにしてほしいとの切実な願いが寄せられている。1割負担撤回、受給者の負担軽減策を求めるが、所見を伺う。(知事)

5. その他